



岩手県立不来方高等学校

同窓会報 不来方

Vol.30

2020. 2.29

発行 不来方高校同窓会

印刷 五六堂印刷



新時代の幕開けと共に…

同窓会長 沢田 雅宏

会員の皆様には日頃より同窓会の運営にご協力いただき心より感謝申し上げます。

お陰さまを持ちまして会務の運営も順調に進めることができ、微力ながらも母校の活躍支援の一翼を担うことが出来ていると思っております。

母校の校舎正面の松が枯木となりしばらくシンボル不在となっていたわけですが、今般矢巾町内の方のご厚意により新たなシンボルを迎えることができました。「令和」という新しい時代の幕開けと共に母校の象徴として母校の新たな時代の変遷を末長く見届けてくれることと思います。

さて、今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。オリンピックの開催にあたり本会にとりましても大きなニュースが飛び込んできました。既に皆様ご存じの通り本校同窓生である水本圭治選手が東京オリンピックカヌー競技のスプリント種目代表として決定いたしました。水本選手は矢巾町初のオリンピック選手としても注目を浴び、地元矢巾町の期待を背負っていることと思いますが、不来方高校在校生や同窓生にとりましても大変嬉しいニュースであり、日本代表として、東京オリンピック選手と

して健闘し素晴らしい活躍をされることを同窓会としても応援致します。不来方入学をきっかけとして始めた競技を続け、大きな舞台で活躍される姿は多くの人に夢や希望を与えてくれます。より多くの方が水本選手のように大きな舞台を夢見て高校生活を過ごしてほしいと思います。

先月報道等で報じられた通り新たな県立高等学校再編計画後期計画が示されました。少子化や一極集中傾向等時代の変化への対応のため必要なこととは思いますが、この計画の実施にあたっては母校の様子はもちろん、PTAや同窓会等の組織の在り方自体も大きな変化が予想されます。具体的にどのような対応が必要なのか、現状では全く見当もつかないことではありますが、同窓会としましても今後の動向を注視しながら対応にあたっていきたいと思っております。

令和のスタートと共に大きな二つのニュースが舞い込み、まさに「新時代」の幕開けとなりましたが、今後も大きな活躍を見せてくれる母校を全力で支援できる同窓会でありたいと願っております。同窓会にとってもこの新たな時代は大きな変革期になると思っておりますが更なる基盤強化と組織体制の充実を目指していきたいと思っておりますので皆様のご協力をお願いいたします。

躍進 不来方! 各部・学系の活躍



家庭クラブ
全国高等学校家庭クラブ研究発表会
ホームプロジェクトの部
文部科学大臣賞 菊池音羽



そろばんグランプリジャパン2019
よみあげ暗算日本一(2連覇)
本間聖康



IIBCエッセイコンテスト
最優秀賞・日米協会会長賞
竹内彩翔



音楽部
全日本合唱コンクール全国大会
金賞(岡山県教育委員会教育長賞)



「それぞれの高みを目指し、ひたむきに励む不来方生に拍手を」 校長 佐々木和哉

同窓会員の皆さまには、日頃から、本校の教育活動にご理解とご支援ご協力をいただいております。心より感謝申し上げます。お陰様をもちまして、昭和、平成、令和と時を重ね、この春には皆様の背を追いかけ、第30回生が巣立つこととなりました。衷心より感謝申し上げます。

高等学校の新しいあり方を希求し、未来を切り開く個性豊かな人材を育成するために、普通科に芸術、人文、理数、外国語、体育の五学系を設ける先進的な学校として、本校が歩んでこられましたのは、同窓生の皆様のご支援ご協力の賜であります。これまでと変わらぬ応援とご声援をいただければ、なにより幸いです。

令和となっても不来方の生徒は、躍動いたしました。男女アベックで選抜ベスト4に入ったハンドボール部、全日本合唱コンクールにおいて12連続20回目の金賞、岡山県教育委員会教育長賞を受賞した音楽部、新人戦・高総体・高校選手権と県三冠を達成し、春高バレーで躍動した男子バレーボール部など枚挙にいとまなしです。個人でも、家庭クラブ研究発表大会ホームプロジェクトの部で文部科学大臣賞を受賞した生徒、国際ビジネスコミュニケーション協会エッセイコンテストで最優秀賞を

受賞した生徒、日本珠算連盟そろばんジャパングランプリで2年連続の日本一に輝いた生徒がいます。

全国の舞台上で光彩を放った生徒たちにはもちろん、そこには至らぬとしても、ひたむきにプレーし、中立の方も惹きつける「不来方の流儀」のもと、芸術、文化、スポーツ、交流、ボランティアそれぞれの舞台上で、それぞれの力を発揮して、奮闘した生徒たちに惜しめない拍手を送っていただきたいと思っております。

2020年、令和の春も、芸術、人文、理数、外国語、体育、それぞれの「不来方の学び」を生かした進路に向け、国・公・私立大学、専門学校などへの進学に、公務員、民間企業への就職活動に、多くの成果を上げ、巣立って参ります。

この春の卒業生に続き、在校生、そして、これから入学する未来の生徒は、今後もこの「不来方の学び」を続け、「不来方の流儀」を身につけ、個性を磨き、それぞれの高みを目指して、ひたむきに励んでまいります。

同窓会員の皆さまに、あらためてご支援、ご協力をお願い申し上げます。挨拶いたします。

同窓生からのメッセージ

平成25年度芸術学系卒 **山本修平**
(不來方高等学校講師)

私は今、母校である不來方高校で講師として勤務しております。改めて不來方高校に戻ると、スポーツや文化活動の功績や特色ある活動が私の在籍していた時以上の活躍に感心する毎日です。この成果は生徒の力と先生のご指導、そして家庭や社会の支援の環境によってもたらされていると思います。私にはその『支え』となった先生が二人おります。

第十代校長川口仁志校長先生。私は東日本大震災が起こった2011年に入学し、音楽部に入学しました。震災後すぐにバスに支援物資を積み、沿岸へ訪問演奏に向かった音楽部。この経験は私の人生の中で大切な時間でした。後から伺った話によると、要望があったらすぐに出向けるように川口先生が準備して下さったとのこと。川口先生から卒業式の日「早く教員免許を取って岩手に帰ってきてな」と言葉をいただき約束をしました。

もうひとつ方は、音楽コースの阿部智則先生。必ずどこかにユーモアを入れて音楽を楽しく教えてくださいました。「音づくりは人づくり」良い音、美しい音を求めていこう」という言葉や「岩手県には作曲の先生が少ないから作曲のほうも頑張ってるね」と声をかけてくださり大変ありがたいと思いました。

先生と生徒の関りは卒業後もふと、力になる時があります。しかし、残念ながら二人の先生は、もういらっしやいません。それでも二人の先生の言葉は今、私の中でしっかり生きています。先生方の思いを胸に生徒の支えになれるような教師を目指していきたいと思います。今後も、一同窓会員、一教師として不來方高校の変わらない発展を願っています。



令和元年度役員

会長	沢田 雅宏
副会長	川村 正章・遠藤 和樹・大河原 正弘・三浦 立 (副校長)
監査委員	邊見 卓也・池田 亮・太田代 敬子・大河原 奈穂・遠畑 竜一・石塚 史子
顧問	齋藤 博士・山縣 富雄・佐藤 修一 横澤 一男・小原 貞徳・伊藤 民也・松尾 光則 川村 祥平・内澤 英明・平藤 淳
年次代表者	1回生 佐々木正義・似里 正勝 3回生 関口 晴美・山本 英樹 5回生 佐野 徹・漆原 謙一 7回生 横沢 是伸・村上 幸 9回生 古館 伸郎・浪岡可奈子 11回生 藤原 歩・早坂 美里 13回生 中村栄里子・藤原 充利 15回生 工藤 昌也・田中 利宗 17回生 高橋 健人・盛合 将太 19回生 吉田 彩織・森田 隆亮 21回生 中村 峻・堀合 喜生 23回生 相原 史香・帷子 瑠夏 25回生 中村 大輔・阿部 大樹 27回生 柳田 彩華・大下 海樹 29回生 田中 天夢・早坂 璃子
事務局長	岩館 直也
事務局員	大沢 勝・高橋 新哉・山本 修平
事務局次長	内記 徹

令和元年度卒業生(30回生) 学級幹事

<◎は年次代表者>

1組	上山 愛莉 (かみやま あいり) 斉藤 礼奈 (さいとう れな)
2組	◎藤村 優太 (ふじむら ゆうた) ◎室月 華音 (むろつき かのん)
3組	工藤 遥 (くどう はるか) 田村 有彩 (たむら ありさ)
4組	久慈 嵩琉 (くじ たける) 内城 雛 (ないじょう ひな)
5組	坂本 健 (さかもと けん) 向田 千尋 (むかいだ ちひろ)
6組	佐々木 凜 (ささき りん) 中目 良 (なかのめ りょう)
7組	神谷 良歩 (かみや らく) 杉浦 叶笑 (すぎうら かなえ)

事務局だより

平成30年度事業報告

平成30年 4月 7日(土)	入学式(会長出席)
7月 6日(金)	高校野球県大会パンフレット広告掲載(高校野球選手権県大会)
7月26日(木)	全国高等学校総合体育大会岩手日報広告掲載
9月 6日(木)	平成29年度同窓会会計監査(本校会議室・斉藤監査委員)
9月 8日(土)	同窓会第1回役員会並びに代表者会議(盛岡グランドホテルアネックス)
平成31年 2月28日(木)	同窓会報29号発行
	同窓会入会式(会長出席)
3月 1日(金)	卒業式(会長出席)
3月 9日(土)	同窓会役員会(盛岡グランドホテルアネックス)

平成30年度会計決算報告

●収入の部 (単位:円)				
項目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	摘要
会費	1,680,000	1,672,000	△8,000	2,000円×836名
繰越金	147,728	147,728	0	
雑収入	120	6	△114	
計	1,827,848	1,819,734	△8,114	
●支出の部 (単位:円)				
項目	予算額(A)	決算額(B)	増減(A-B)	摘要
運営費	210,000	197,674	12,326	事務費・旅費・渉外費・慶弔費
事業費	958,000	932,967	25,033	会報費・行事・選抜費補助、広告費
教育支援費	226,800	171,936	54,864	備品購入
積立金	420,000	418,000	2,000	積立金会計へ(定期)
予備費	13,048	0	13,048	
計	1,827,848	1,720,577	107,271	
収支	収入	支出	残額(繰越金)	
	1,819,734円	- 1,720,577円	= 99,157円	

事務局から
会員の皆様へ

～同期会開催の補助～

同窓会会計の会議費の中に、同期会費(葉書代補助)があります。卒業年度の学年ごとに同期会を企画する際、葉書代(通信費)を補助いたします。開催する場合は、本校同窓会担当までご連絡下さい。